

20 福祉送迎車を活用した地域の安心・安全な暮らしを守る活動

メンバー

実施者 : 黒田庄まちづくり協議会

連携団体 : 西脇市、北播磨地区福祉有償運送運営協議会、地区内の全自治会、地域包括支援センター、社会福祉協議会、NPO法人 兵庫SPO支援センター

活動目的

地域住民が福祉送迎車を運行することにより、西脇市黒田庄地区の障がい者等の医療・福祉サービスの受益支援及び買い物困難者への買い物の機会の提供と、見守り活動による子どもの安全及び高齢者の社会参加を促進。

対象地域 :

兵庫県西脇市黒田庄町

人口 :

6,547人



取り組み内容

キーワード : 福祉送迎車の活用

- ① 地域住民による福祉送迎車運行 福祉送迎車運行事業に関するアンケート調査：利用者から送迎は助かっており、継続してほしいとの声が明らかになった。
- ② 地域の子ども見守り（青色パトロール）：不審者等の抑止効果につながった。
- ③ 地元食材による特産品の移動販売：販路拡大をすることができた。

2020年度の活動実績

- ① 福祉送迎車の運行：利用件数が増えた。（H30 231名→R1 254名 R2 249名）
- ② 子ども見守り事業：子ども見守り活動隊が増えた。子ども見守り事業では、不審者の抑止につながった。（「子ども見守り活動隊員」H30 83名→R1 110名 R2 120名）
- ③ 移動販売事業：道の駅「北はりま田園空間博物館」、黒田庄駅舎「あつまっ亭」、茜が丘複合施設みらいえ」、集落公民館で販路拡大となった。



取り組みが地域に与えた影響

専門家コメント_グローカ交流推進機構

- ① 福祉送迎車の運行
 - ・ 身体に支障がある高齢者・障がい者の支援活動が地域住民に伝わった。
 - ・ 旧福祉送迎車の老朽化により運行できるか心配していたが、今回の新車導入で運行を継続することができた。
 - ・ また、新車への置き換えにより、運行にかかる費用を低減することもできた。
- ② 子ども見守り事業
 - 見守り活動隊も増え、学校・警察が一体となって取り組んでいることが地域住民に伝わった。
- ③ 移動販売事業
 - 高齢者等の交通弱者の買い物支援となった。

市町村合併を機に、必要性の高い「福祉送迎」を社会福祉協議会から引き継ぎ、地域に無くてはならない活動となっています。今回の助成では、車両更新を支援することで、継続的な活動が可能となりました。ローコストな送迎活動をはじめ、青パトによる通学見守り、お惣菜の販売など、まちづくり協議会の活動は多岐にわたり、それを支える多くのボランティアの存在に地域の力を感ずります。

取り組みで得た知見（これから取り組む方に伝えたいこと）

- ・ どんな活動でも継続することが大事である。
- ・ 地域内で様々な取り組みを広く行うことで、支え手のすそ野も広がる。